平成 24 年 5 月 9 日

各　　位

会　社　名　宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名　取締役社長　　大宮　久
（コード番号　2531　東証、大証　第 1 部）
問 合 せ 先　財務・IR部長　　掛見　卓也
T　E　L（０７５）２４１－５１２４

代表取締役の異動に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 5 月 9 日開催の取締役会において、代表取締役の異動について、下記の通り決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、本件につきましては、平成 24 年 6 月 28 日開催予定の定時株主総会および株主総会終了後の取締役会を経て正式に決定する予定です。

記

1. 異動の理由

新たな経営体制の下で、一層の企業価値向上を図るため

2. 異動の内容

(1) 代表取締役の異動（平成 24 年 6 月 28 日予定）

新役職名	氏名	旧役職名
代表取締役会長 （宝酒造㈱代表取締役会長）	大宮　久	代表取締役社長 （宝酒造㈱代表取締役社長）
代表取締役副会長	大宮　正	代表取締役副社長
代表取締役社長 （宝酒造㈱代表取締役社長）	柿本　敏男	代表取締役副社長 （宝酒造㈱代表取締役副社長）

※大宮　久は、タカラバイオ㈱における現職（取締役会長）を継続する予定です。
※大宮　正は、宝酒造㈱における現職（代表取締役副社長）を継続する予定です。

(2) 代表取締役の退任（平成 24 年 6 月 28 日予定）

氏名	旧役職名
後藤　功	代表取締役会長 （宝酒造㈱代表取締役会長）

※退任する後藤　功は、同日付で当社および宝酒造㈱の取締役を退任し、両社の相談役に就任予定です。

3．略歴

(1)

【氏　　名】 大宮　久(おおみや　ひさし)

【生 年 月 日】 昭和 18 年 6 月 9 日

【略　　歴】 昭和 43 年 4 月　寶酒造株式会社(現:宝ホールディングス株式会社)入社
昭和 49 年 4 月　開発部長
昭和 49 年 5 月　取締役
昭和 57 年 6 月　常務取締役
昭和 63 年 6 月　専務取締役
平成元年 7 月　専務取締役　バイオ事業部門本部長
平成 2 年 4 月　専務取締役　東地区酒類事業部門本部長
平成 3 年 6 月　代表取締役副社長
平成 5 年 4 月　代表取締役副社長　酒類事業部門本部長
平成 5 年 6 月　代表取締役社長(現)
平成 14 年 4 月　宝酒造株式会社(＊)　代表取締役社長(現)
同　タカラバイオ株式会社(＊)　取締役会長(現)
平成 24 年 6 月　宝ホールディングス株式会社　代表取締役会長(予定)
同　宝酒造株式会社　代表取締役会長(予定)

【所有株式数】 293,250 株

(2)

【氏　　名】 大宮　正(おおみや　ただし)

【生 年 月 日】 昭和 25 年 3 月 18 日

【略　　歴】 平成 12 年 2 月　株式会社富士銀行　国際部参事役
平成 12 年 5 月　同行退職
平成 12 年 6 月　寶酒造株式会社(現:宝ホールディングス株式会社)入社
平成 13 年 4 月　経営企画室長
平成 14 年 4 月　宝ホールディングス株式会社　経営企画統括部長
同　宝酒造株式会社(＊)　常務取締役
平成 14 年 6 月　宝ホールディングス株式会社　取締役
平成 16 年 6 月　宝ホールディングス株式会社　代表取締役副社長(現)
平成 17 年 6 月　宝酒造株式会社　専務取締役
平成 18 年 6 月　宝酒造株式会社　代表取締役副社長(現)
平成 24 年 6 月　宝ホールディングス株式会社　代表取締役副会長(予定)

【所有株式数】 318,150 株

(3)

【氏　　名】 柿本 敏男(かきもと としお)

【生 年 月 日】 昭和 25 年 8 月 9 日

【略　　歴】 昭和 48 年 4 月　寶酒造株式会社(現:宝ホールディングス株式会社)入社

平成 10 年 4 月　製造部長

平成 14 年 4 月　宝酒造株式会社(＊) 技術・供給本部副本部長

平成 15 年 4 月　宝酒造株式会社 執行役員 技術・供給本部副本部長

平成 15 年 6 月　宝酒造株式会社 取締役 技術・供給本部長

平成 16 年 6 月　宝酒造株式会社 常務取締役 技術・供給本部長

平成 22 年 6 月　宝ホールディングス株式会社 代表取締役副社長(現)

同　宝酒造株式会社 代表取締役副社長(現)

平成 24 年 6 月　宝ホールディングス株式会社 代表取締役社長(予定)

同　宝酒造株式会社 代表取締役社長(予定)

【所有株式数】 39,000 株

＊当社は、平成 14 年 4 月 1 日に旧寶酒造株式会社より改称、事業会社として宝酒造株式会社とタカラバイオ株式会社を設立しました。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。